

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	病児・病後児保育補助事業	所管	保健福祉部 保育課
			TEL 2998-9126

事業の目的 (何の為に 行うか)	病後児保育を実施する施設と委託契約を締結し、集団保育が困難な時期の乳幼児を一時的に預かることにより、保護者の需要に応えるため。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	社会福祉法人等の事業実施施設	対象とした数	1	園
		実際に 利用した数	1	園

活動の内容	(何を したか)	<p>①事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内に住所を有し、認可保育園等に通園中の児童が病気の回復期のため安静に配慮する必要があり、集団保育が困難な児童で、やむを得ない理由により家庭において保育が困難な児童を受け入れる。 ・ 保護者負担金は児童1人当たり日額2,000円。 <p>②事業の実施施設は市長と委託契約を締結し事業を実施する</p> <p>③委託契約額 事業費基本額 年額6,604,000円 事業運営費 利用者1人1日当たり2,000円 運営費加算額 利用者1人1日当たり2,000円を加算</p>									
	活動実績	項目名	延べ利用児童数	431	項目名	開所日数	293	項目名	利用日数	211	
			-----	単位	人	-----	単位	日	-----	単位	日

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,712	7,600	9,761	28.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率						
	延べ利用児童数		431	431	100.0						
			-----	単位	人	-----	単位	人	-----	単位	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []									
		終了		⇒		事業完了		終了		休止	
	予算	* 現状どおり		増額		減額		終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了										
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []		終了		
	予算	現状どおり		増額		減額		終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040600	TEL	2998-9126		
事業コード	病児・病後児保育補助事業							
040613								
開始年度		平成	9	年度	—	終了年度	平成	年度
グループ		施設担当						

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	次世代育成支援行動計画			所沢市病児・病後児保育事業実施要綱					
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	1 子どもたちの健全育成	小柱	(1) 保育事業の充実	
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		コード			コード			コード		
事業開始の背景		病気の回復期にあたって、集団保育の困難な時期に、保護者の仕事上の都合で、家庭で保育ができない場合に一時的に保育を実施する。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)									
	病後児保育を実施する施設と委託契約を締結し、集団保育が困難な時期の乳幼児を一時的に預かることにより、保護者の需要に応えるため。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	社会福祉法人等の事業実施施設					病児・病後児保育実施施設				
	対象数	単位	平成 18 年度	1	園	利用数	単位	平成 18 年度	1	園
		平成 19 年度	1	園			平成 19 年度	1	園	
事業の具体的な内容及び実施方法										
①事業の内容 ・市内に住所を有し、認可保育園等に通園中の児童が病気の回復期のため安静に配慮する必要があり、集団保育が困難な児童で、やむを得ない理由により家庭において保育が困難な児童を受け入れる。 ・保護者負担金は児童1人当たり月額2,000円。 ②事業の実施施設は市長と委託契約を締結し事業を実施する ③委託契約額 事業費基本額 年額6,604,000円 事業運営費 利用者1人1日当たり2,000円 運営費加算額 利用者1人1日当たり2,000円を加算										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			8,712	16,568
	決算 (見込み含む)			7,600	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	人	0.23 人	2,161	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		0	9,761	
	財源内訳	一般財源	0	5,743	8,488
	国・県支出金			3,200	6,400
	受益者負担金			818	1,680
市民一人当たり(単位:円)		0.0	28.8		
利用数一単位あたり(単位:円)		0.0	9,760,620.0		

⑥指標	項目名	延べ利用児童数	計算方法	単位	人	H 18	538	H 19	431	H20見込み	480	将来目標	1200
	活動実績	開所日数		日		292	293	293	879				
	利用日数			日		219	211	211	633				
	成果分析	延べ利用児童数		人	目標値	538	431	480	1200				
				%	実績	538	431	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		1			
					達成率	100.0	100.0						

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	社会福祉法人	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題						
	今期目標項目(何を)	病気の回復期の児童を受け入れることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	達成水準(どこまで)	保護者からの児童の受け入れ等にあたり、児童の病状的確な把握、主治医からの指示等に万全を期するものとする。	時期(いつまで)	20年度末	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	病気の児童は保育園において保育できないため、休暇が取れない保護者にとっては有効な事業である。						
評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	保育課長 野村孝行				

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性									
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了									
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了									
	評価理由	評価日									
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業			
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業			
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業			
評価日											

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
基本目標				
主要課題				
施策の方向				